

97mm（内側に折り込む面） A

奥三面遺跡群と 奥三面集落

県営奥三面ダム建設に伴い、昭和63年～平成10年にかけて発掘調査が行われました。この調査によって19ヶ所の遺跡が発見され、これらを総称して奥三面遺跡群と呼んでいます。調査は奥三面地域全体に及び、後期旧石器時代（約25,000年前）から現代まで続く生活の痕跡が確認できました。特に縄文時代の遺跡からは、砂利で舗装された道、環状配石、人面付岩版など、これまで知られていなかった多くの貴重な発見があり、全国的に注目されています。

また、奥三面には昭和60年まで生活した人々がいました。自らを「山人（やまんど、やまびと）」と称し、自然の恵みを利用した生活の様子は、「山に生かされた」と表現されています。

奥三面の人々に代々受け継がれた民具には、山で生きる知恵や技術が詰まっており、縄文時代の生活を考える上でも貴重な資料です。



環状配石 縄文時代後期（約4,000年前）アチャ平遺跡
大きな石を円形に置いた特別な場所と考えられています。



100mm

B

アクセスマップ



INFORMATION

ご利用の案内

展示室入館料

大人 / 600円(480円)
小中高校生 / 150円(120円)

※()内は20名以上の団体料金です。
※体験料は別途必要となります。

開館時間

10:00～16:00 (1月～2月)
9:00～16:30 (3月～12月)

休館日

月曜日・年末年始(12/28～1/4)
※月曜日が祝祭日の場合は翌日休館

公益財団法人 イヨボヤの里開発公社

縄文の里・朝日

〒958-0241 新潟県村上市岩崩612-118

TEL. (0254) 72-1577 FAX. (0254) 60-2025

ホームページ <http://www.iwafune.ne.jp/~joumon/>
メールアドレス joumon@mail.iwafune.ne.jp

この施設には、新潟県企業局の県営発電所所在市町村地域振興助成金が充てられています

100mm

C

縄文の里・朝日 奥三面歴史交流館

